

③9 西武鉄道池袋線（石神井公園駅付近）連続立体交差事業

受賞機関 東京都 建設局 道路建設部

キーワード 鉄道高架化、事業効果の早期発現、まちづくりの進展

全建賞審査委員会の評価ポイント

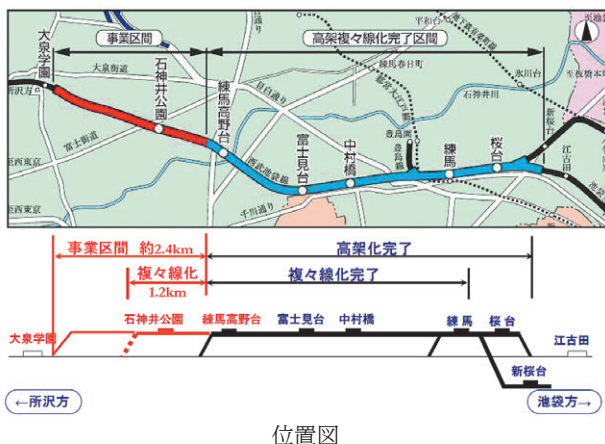
西武鉄道池袋線を高架化することで、9箇所の踏切を除却し、交通渋滞を解消する連続立体交差事業。施工に当たり工区を分割する等の取組みにより、早期に効果発現を実現した点や、高架下において保育所等の施設を設置、また再開発や駅前広場整備も併せて行うなど、本事業を契機に地域のまちづくり全体を進展させた点が評価された。

1. はじめに

都内には、今なお約1,050箇所の踏切があり、このうちピーク時1時間あたり遮断時間が40分以上のいわゆる「開かずの踏切」が約200箇所以上存在する。これらの踏切は、東京の最大の弱点である慢性的な交通渋滞や市街地の分断等を引き起こし、都市機能の低下を招く大きな要因となっている。東京都建設局では、鉄道事業者及びその沿線区市と協力し、これらの諸問題を解決する手段として、道路と交差する鉄道を立体化する連続立体交差事業を推進している。

2. 事業の概要

本事業は、東京都が事業主体となり、西武鉄道池袋線の練馬高野台駅から大泉学園駅間の約2.4kmの区間を高架化し、道路との立体交差化を図るものである。また、練馬高野台駅から石神井公園駅までの約1.2kmについては、西武鉄道による複々線化も併せて実施した。本事業により、富士街道や都道444号線を含む9箇所の踏切を除却するとともに、約1.6kmの側道を整備した。



3. 事業の成果

複々線化区間をⅠ期区間、それ以外の区間をⅡ期区間とし、Ⅰ期区間の工事着手を先行して行うこととした。区間を分けて施工することで、Ⅰ期区間の踏切6箇所をⅡ期区間に4年先行して除却し、早期に事業効果を発現させることに成功した。

本事業の効果として、富士街道では最大約500m、都道444号線では最大220mの交通渋滞が解消され、自動車の平均旅行速度が約2倍に向上した。高架化後に地元の方々へ行ったアンケート結果では、地元の方々のうち、約9割の方から、「子どもやお年寄りの移動が安全になった」、「救急車等がすぐに来るといふ安心感が高まった」との回答を得た。また、高架化に併せ延長約1.6km、幅員6～10mの側道整備を行い、高架構造物による日影等への環境対策とともに、駅へのアクセス向上や地域交通の円滑化などの効果が得られた。さらに、沿線では、再開発事業等が進展するなど、周辺まちづくりにも大きく貢献している。鉄道の高架化により新たに生み出された高架下空間では、保育所や図書館受取窓口等が整備され、利便性向上や賑わい創出に寄与している。



完了状況（石神井公園駅付近）

4. おわりに

本事業により、交通渋滞の解消による道路交通の円滑化や、鉄道、道路それぞれの安全性の向上が図られるとともに、沿線の既成市街地の分断を解消し、地域の活性化や利便性の向上にも寄与し、大きなストック効果が発現している。

本事例が、連続立体交差事業の更なる推進と、都市機能向上の一助となれば幸いである。

最後に、事業推進にご協力いただいた関係各所の方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。